

令和6年/月29日

宍粟市長 福元晶三様

宍粟市ごみ収集等手数料あり方検討委員会
委員長 福山千鶴



宍粟市ごみ収集等手数料あり方検討委員会意見書（報告）

当委員会では、現在のごみ収集等手数料のあり方について、ごみ処理に関する受益と負担の関係、宍粟市の塵芥・資源物収集が抱える課題について考察しながら、令和5年6月16日から令和5年12月7日までの間、6回にわたり検討してきました。

限られた時間の中で議論と検討を重ね、意見を取りまとめましたので、ここにごみ収集等手数料あり方検討委員会の意見を報告します。

1 はじめに

平成17年宍粟市の発足当初はごみの分別も旧町ごとに異なっていました。平成25年から佐用町にあるにしはりまクリーンセンターでのごみ処理の開始とともに、分別収集の仕方も統一しています。その際、リサイクルの推進の為に、ごみの分別数が増えたことから市民の負担も増え、同時にごみ処理経費も増加しています。一方で、収集方法に改良を重ね、市民の便宜や安全な収集を図られていますが、経費は増加の一途をたどっています。

「処理経費」、「手数料」、「ごみ処理の仕組み」、「普及啓発」を念頭にごみ収集等手数料のあり方の検討を進めてきましたが、効率的な塵芥等収集方法を模索するなかで、収集区域やルート的大幅な変更、ステーションの集約等検討課題も見えてきました。

2 主な意見

(1) ごみ処理経費について

ア ごみ袋について

- ・ごみ袋の価格設定と仕様について、他市町と比較検討することにより、宍粟市が県下でも比較的安いことがわかりました。宍粟市合併以降、ごみ袋については、市民の利便性を考慮して改良が加えられており、質は良くなりました。一方でごみ袋作成経費をできるだけ抑える工夫を施すことで少しでもごみ処理経費の削減を考えて欲しいです。

イ にしはりまクリーンセンターについて

- ・ダイオキシン対応による広域化やリサイクル推進の為の分別数の倍増は理解しました。市民として家庭のごみ減量を積み重ねることでごみ処理経費削減に関わっていきたいと思います。
- ・ごみ処理経費の総額のうち、にしはりまクリーンセンターの分担金が約2/3を占めていますが、今後この費用が増すことがないか心配します。

ウ ごみ収集・資源物回収ステーションについて

- ・各自治会の資源物回収ステーションへたくさん持っていけば持つていくほど、自治会への交付金が増えるので市民がもう少し分別を意識すればよいのではないかと思います。
- ・コンテナ収集により、資源物がいつでも排出できるようになった一方で、資源物回収ステーションの管理が課題となっています。

(2) ごみ収集等手数料（ごみ袋代）について

- ・宍粟市合併後も手数料が変わっていないことや他市町との比較で宍粟市ごみ収集等手数料が安いことがわかりました。
- ・最終的には値上げは仕方ないと考えますが、ごみ処理経費削減の努力とその丁寧な説明が必要でないかと思います。
- ・ごみステーションの数・受益者数・立地など宍粟市特有の収集問題（収集区域が広すぎて収集コストが高い、人口減少でごみステーションの1箇所あたりの受益戸数が激減している等）を聞き、ただ単にごみステーションの集約だけによる経費削減は適切でないと思います。
- ・事務局案である少額の値上げで済むのなら理解できるかもしれませんが。
- ・生ごみを自分で処理して、プラごみを分別し、紙は紙で分ければごみは少なくなります。値上げの理由は、いろんな理由があるが、ごみに対する何か意識をちょっと考える上では、値上げしてもいいと思います。
- ・5年後10年後、将来にわたってのごみ処理経費を考えるともっと上げるべきではないかと思います。

- ・ごみ収集等手数料あり方検討委員会をきっかけに、市のごみ処理の長期的な目標と市民の負担を示していただきたいです。
- ・物価等が上昇するなかで、このタイミングの手数料改定には賛同できません。
- ・ごみ処理経費が年々増加しているからといって、市民に負担を強いるのは賛成できません。誰の為の値上げかわからないし、多少の値上げをしたところで、膨大なごみ処理経費にとって“焼け石に水”ではないでしょうか。
- ・ごみ収集等手数料を上げ過ぎると野焼き・不法投棄など不適切なごみ処理の増加につながる可能性があります。不法投棄等不適切なごみ処理が横行しているので、ごみの適切な処理の施策として普及啓発事業にも力を入れて欲しいです。

(3) ごみ処理・収集のしくみについて

- ・資源物の収集業務は可燃ごみ収集のようにごみがあってもなくても全ての地域を周回する方法は効率が悪く、他に良い方法がないか考えてもらいたいです。
- ・個々のごみの排出量の実態に応じた工夫や仕組みづくりを検討してはどうか。個人の努力が報われる仕組みを作ってほしいです。
- ・プラ製容器包装を出している家庭は、可燃ごみの排出に比べると圧倒的に少なく、プラごみの他不燃ごみも腐らないし、臭わないので、資源物回収ステーションと一緒にに入れてはどうかと思います。
- ・ごみ袋に記名することはプライバシーの問題などもあるが、分別の徹底や適切なごみ排出にはとても重要なことであり、引き続き継続してほしいです。

(4) 普及啓発・環境教育について

- ・ごみ減量の為の意識改革が必要であり、今回のごみ収集等手数料のあり方の検討をきっかけに子どもから高齢者までの全ての市民に対する環境教育に力を入れてほしいです。
- ・徳島県上勝町のようにごみ分別の取り組みとその効果を視覚に訴えるような工夫も大事ではないでしょうか。モチベーションを上昇させることがごみの分別、リサイクルの推進にはかせないでしょう。

3 おわりに

ごみ処理経費の増大とごみ収集等手数料の据置は受益と負担の関係から恒常的なギャップを抱えています。市民としてごみ処理にかかる負担は資源循環型社会の構築に必要な支出であることを認識していますが、ごみ処理経費とごみ収集等手数料の格差を是正することは必要です。

市内どこでも同じ条件で行うごみ収集は、今後持続可能なごみ処理施策を推進するうえで、必要とされる行政サービスをどこまで維持するのかを考える岐路に立っているともいえるでしょう。

また、市がこれまで以上に市民の理解と協力を得て成果を上げるためにも、細やかな情報発信を望みます。

今後において実情に応じた収集システムの構築も必要になってくると思いますので、現行の収集や処理システムにこだわらず、現在のごみステーションの立地と設置数が適正かどうかの検証も行い、ごみの減量化・再資源化及び経費の削減に努めていただきますようお願いいたします。

宍粟市ごみ収集等手数料あり方検討委員会 委員名簿

委員長	福山千鶴
副委員長	落岩一生
委員	宮脇昭介
委員	菅谷省三
委員	井原達夫
委員	中津恵美子
委員	長田茂伸
委員	多田千鶴子
委員	城下清美
委員	春名堂司
委員	井上由岐子
委員	土井景子
委員	廣居久美
委員	宮内よし子

宍粟市ごみ収集等検討委員会経過

年月日	回数	主な内容
令和5年6月16日	第1回	<ul style="list-style-type: none"> ・委嘱状の交付、委員長及び副委員長の選出 ・ごみ収集等手数料あり方検討委員会について ・ごみ処理の現状について
令和5年7月20日	第2回	<ul style="list-style-type: none"> ・にしはりまクリーンセンター視察 ・ごみ処理経費と手数料の負担について ・ごみ収集等手数料の他市町との比較について ・ごみ収集等手数料の位置づけについて
令和5年8月30日	第3回	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみ袋の仕様について ・ごみ収集等手数料改定試算について
令和5年10月2日	第4回	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみ処理経費と負担について ・ごみ施策の先進例について ・新ごみ収集等手数料（案）について
令和5年10月30日	第5回	<ul style="list-style-type: none"> ・宍粟市ごみ収集等手数料検討委員会意見書素案（報告）の確認
令和5年12月7日	第6回	<ul style="list-style-type: none"> ・宍粟市ごみ収集等手数料検討委員会意見書最終案（報告）の確認